

北大病院循環器内科で心エコー図検査と心臓MRI検査を受けられた患者さんまたはご家族の方へ（臨床研 021-0010 究に関する情報）

北海道大学大学院 循環病態内科学では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られる診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

【研究課題名】

ドプラ心エコー法による肺動脈弁逆流重症度の過大評価の要因に関する検討

【研究機関・長の氏名】 北海道大学病院 秋田 弘俊

【研究責任者名・所属】 辻永 真吾（北海道大学大学院 循環病態内科学教室 特任助教）

【研究の目的】

ファロー四徴症や肺動脈弁狭窄症に対して右室流出路修復術の既往がある患者さんは肺動脈弁逆流の程度がその予後へ影響することが知られております。そのため、生まれつきの心疾患のため右室流出路再建術をおこなった患者さんにおいては肺動脈弁逆流に対する正確な重症度評価が求められております。

その肺動脈弁逆流を評価する方法として心臓MRI検査は心エコー法検査と比較してより正確な評価法であり、求められた逆流率から重症度評価が可能です。一方で心エコー検査を用いた重症度評価も行われております。

この研究では、心臓MRI法による肺動脈弁逆流の重症度評価と心エコー法での重症度評価がかけ離れてしまう患者さんの特徴を見出し、心エコー検査による肺動脈弁逆流の重症度評価の成績向上をはかることを目的として挙げております。

【研究の方法】

●対象となる方

2014年4月1日から2021年5月31日までに北海道大学病院において、心エコー図検査と心臓MRI検査が施行された先天性心疾患術後の患者さん。

●利用するカルテ情報

1. 診療記録から、心エコー図検査実施時の年齢、性別、身長、体重、体表面積、診断名、病歴、施行された術式を調べさせていただきます。

2. 心エコー図検査で得られた所見と心臓 MRI 検査で得られた所見との関連を調査させていただきます。

[研究実施期間]

病院長による実施許可日～2022年3月31日（登録締切日：2021年5月31日）

[個人情報の取り扱い]

本研究の実施にあたり、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの情報に関しては、研究担当者が北海道大学病院内で診療記録や心エコー検査記録を収集した後、お名前、ご住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除した上で管理いたします。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先]

札幌市北区北 15 条西 7 丁目

北海道大学大学院 循環病態内科学教室 特任助教 辻永 真吾（研究責任者）

電話：011-706-6973, FAX：011-706-7874